



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩
郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八ヵ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

夏休み満喫♪

【巻頭言】

地域の中へ

園長 宮竹 恒

新学期を迎え、子どもたちは夏休みの思い出を糧に新たなスタートを切りました。

今年の夏休みは、子どもたちの希望を取り入れ様々な経験が出来るよう職員と一緒に取り組みました。特に地域の中に出かけて活動を行ったことが子どもたちにとって良い思い出となりました。

夏休みに入る前に女子から「浴衣を着たい!」「お化粧をしたい!」と希望がありました。また、学園の夏祭りで希望があった出店も全部は出来なかったこともあり、地域の夏祭りに参加することにしました。当日、女の子たちは笑顔で浴衣姿を披露してくれました。

夏祭りに参加した後、一つ感じたことがあります。「地域の夏祭り」に参加することを通して、子どもたちが、自分の「過去の夏祭り」の経験と重ね合わせていたということです。

子どもたちは、職員に過去の体験を聞いて貰う事で、気持ちの整理をしているようにも感じました。

今回、夏祭りに参加したことが、子どもたち一人一人にとって、過去と未来をつなぐ良い思い出となることを願っています。—了—

香西夏祭り



夏休み最後の思い出に香西夏祭りに行きました。始まる前は、「雨が降ってるけど、どうなるんだろう・・・。」と心配する声もありましたが、無事開催されました。

屋台には、焼きそば、かき氷、焼き鳥、わたあめなどの食べ物のお店や射的、輪投げ、くじなどの模擬店も出ていました。祭りで、じゃんけん大会も開催され見事4位に入賞する



子もいました。子ども達はたくさん食べて、遊んで笑顔になっていました。

プール（高松市亀水運動センター）



暑い日にプールに行きました。水温も冷たくなかったので、「ぬるい」「気持ちいい」など色々な反応がありました。海とは違って波



は無いですが、ボールや浮き輪などを使って楽しく遊ぶことができました。また、「泳ぐの競争しよう」と言って競争をする子もいました。去年より速く泳げたことで喜んだり、少し遅くなって悔しがったりと色々な表情をしていました。



海水浴



良く晴れた日にみんなで海水浴に行きました。浮き輪やボートも使いながら活発に泳いだり、のんびり浮かんだりしていました。また砂浜で綺麗な貝殻を探している子どももいました。初めは恐る恐る海に入っていた子どもが、後半にはすっかり慣れて楽しんでいた姿も印象的でした。泳ぎが得意な子も苦手な子も海を楽しみ気持ちよく過ごすことができました。



★夏飯★

ぎょうざ



食育で餃子づくりを行いました。餃子の皮を包む工程ではうまくヒダが作れず八つ橋みたいなのになる子どもがいて笑い声が飛び交っていました。

しかし包んでいく内に見違えるほどヒダを上



手に作ることができ嬉しそうに見せてきてくれていました。

どこで練習したのか子ども

も達は皆上手に包むことができていると驚きました。



自分で作ったぎょうざを夕食で食べました。予定より多く出来たのでたくさんおかわりをして満足そうでした。

すいか割り

すいか割りを行いました。最初は、バスケットボールをすいかに見立てて練習しました。参加者は、タオルで目を隠し、立てた棒の周りを5回転し、すいかの場所まで進みます。



特に印象的だったのは、観ている子どもたちの応援です。最初は、それぞれが思い思いの声援をしていました。

すいかがなかなかかわれず、とうとう最後の1人になると、その1人に思いを託し、まるで全員で一つのすいかを割っているように、熱い声援が続きました。その結果みごとに、すいかに命中！全員で美味しくいただきました。

ハンバーガー



昼食に若竹バーガー&ポテトセットが登場！夏休みのメニューとして提供しました。子どもはマックみたいと大喜びでした。おかわりもありました。

おやつ作り

子どもたちの希望でベビーカステラとたこ焼きを作りました。ベビーカステラはホットケーキミックスを使ったたこ焼き器でたこ焼きと分けて焼きました。



【子どもの感想】

- ・たこ焼き器で焼くのは、返すのが難しかったけどとても楽しかった。
- ・ちょっと焦げたけどうま〜く丸く焼けた。



自分達でアレンジしながらたくさんおかわりして食べていました。



さめきこどもの国



8月11日、さめきこどもの国へ行ってきました。風はありましたが、陽は心地よく、外の小川で足をつけて涼んだり、中で工作や楽器を触る音楽体験をしたり、展示物を見て回ったり、思い思いに楽しんでいる様子でした。作った工作物は持って帰ることが出来、帰りのバスや、学園に帰ってからも楽しそうに遊んでいます。最後は全員でプラネタリウムを見ました。普段なかなか見られない物だったためか、みんな興味津々で見えており、おもしろかったと話していました。

新屋島水族館

8月14日に新屋島水族館に行きました。台風が近づく、あいにくの天気の中でした。で



すが、なかなか行く機会がない水族館ということで、向かう車の中では歌を歌うほどワクワクしていました。

タッチプールで、恐る恐るヒトデやナマコを触ったり、カニを見て「美味しそう」、「あれニモだ！」と言いながら見て回りました。後半は、ひときわ雨と風が強くなり、濡れながらのイルカショーでした。しかし、子どもたちはイルカのクイズに真剣に答えたり、ジャンプを見て大きな歓声を上げたりしていました。



8月行事

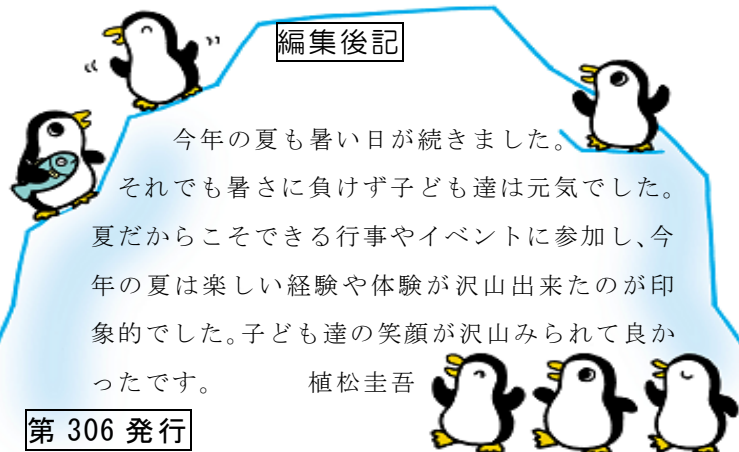
1日	海水浴	12日	おやつづくり
3日	図書館	14日	屋島水族館
9日	海水浴	16日	市民プール
10日	太鼓練習	17日	図書館
10日	すいか割り	24日	香西まつり
10日	花火鑑賞(生島)	26日	始業式
11日	こどもの国	31日	調理実習

在籍人数

令和元年9月1日現在

区分		県内 (人)	県外	合計
			(人)	(人)
男子	小学生	6	0	6
	中学生	6	0	6
	計	12	0	12
女子	小学生	4	0	4
	中学生	4	1	5
	計	8	1	9
合計		20	1	21

編集後記



今年の夏も暑い日が続きました。それでも暑さに負けず子ども達は元気でした。夏だからこそできる行事やイベントに参加し、今年の夏は楽しい経験や体験が沢山出来たのが印象的でした。子ども達の笑顔が沢山みられて良かったです。 植松圭吾

第306発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp>
 Eメール wakatake@4on.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 宮竹 恒